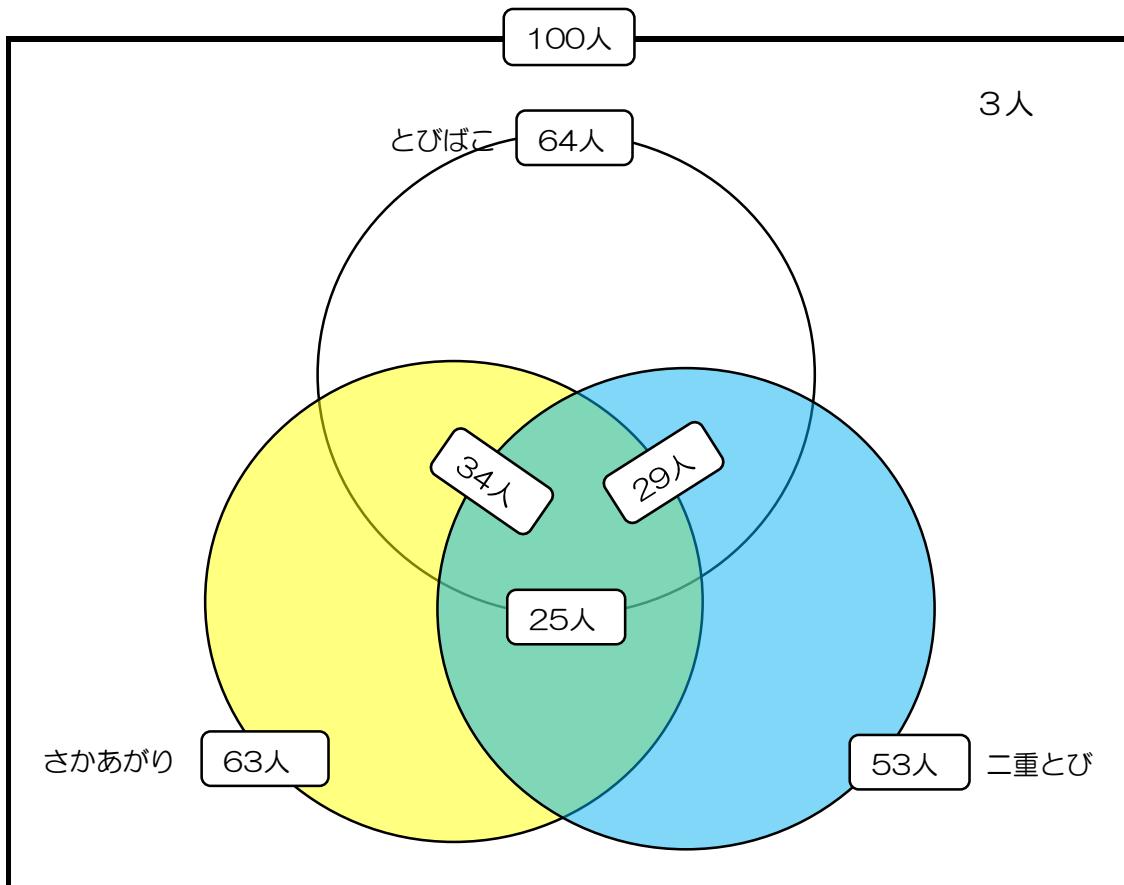


☆挑戦状☆ (算数解答編②)

① 3つともできる人！

こたえ 5人

円を3書いて、円の中に入っている人ができる人を表す図を書きます。(ベン図ですね！)
円が重なっているところは、両方ともできることを表します。



求めたい人数は真ん中の3つの円が重なっている部分です。

どれか1つでもできる人数は $100 - 3 = 97$ (人),

種目ができる人の人数は $64 + 63 + 53 = 180$ (人) なので,

$$(2\text{種目できる人}) + (3\text{種目できる人}) \times 2 = 180 - 97 = 83 \text{ (人)} \cdots \textcircled{A}$$

$$(\text{とびばことさかあがりができる人}) + (\text{さかあがりと二重とびができる人}) + (\text{とびばこと二重とびができる人}) = 34 + 25 + 29 = 88 \text{ (人)}, \text{ これは}$$

$$(2\text{種目できる人}) + (3\text{種目できる人}) \times 3 = 88 \text{ (人)} \cdots \textcircled{B} \text{とも考えられます。}$$

ここで、 $\textcircled{A} - \textcircled{B}$ をすると3種目できる人数がわかります。

$$88 - 83 = 5 \text{ 人}$$

② こわれた電卓！

答え

$$\boxed{}\boxed{} \times \boxed{}\boxed{} = \boxed{}\boxed{}\boxed{}$$

わかりやすいところから考えていきます。

$$\boxed{}\boxed{} \times \boxed{}\boxed{} = \boxed{}\boxed{}\boxed{}$$

ア イ ウ エ オ カ キ

ア～キの数字のうち、ウの数字は2、オは8しかありません。

$$\boxed{}\boxed{} \times \boxed{}\boxed{} = \boxed{}\boxed{}\boxed{}$$

ア イ ウ エ オ カ キ

イは0か8と考えられますが、キは4か9しか見えませんから、8です。イが8ということは、キは4しか見えません。

$$\boxed{}\boxed{} \times \boxed{}\boxed{} = \boxed{}\boxed{}\boxed{}$$

ア イ ウ エ オ カ キ

さらに、エは3となります。これまでにわかった数字から、アも3と決まります。

$$\boxed{}\boxed{} \times \boxed{}\boxed{} = \boxed{}\boxed{}\boxed{}$$

ア イ ウ エ オ カ キ

これまでにわかったア～エの数で計算すると、カは7とわかりました。

$$\boxed{}\boxed{} \times \boxed{}\boxed{} = \boxed{}\boxed{}\boxed{}$$

ア イ ウ エ オ カ キ



①は重ねている部分がポイントだね！

②はわかりやすいところから、順に考えていこう。